提案システムについてです。

このシステムのポイントは、不均一な性能のサーバ環境で応答時間を測って、応答時間評価アルゴリズムに通して、評価付けを行う点です。これによって、異種環境のサーバ郡で、応答速度に基づいて動的割り振りを行います。

ステップ３は方法論、ステップ５は実現方法が大事になるので次のスライドで説明します。

＜実装した割り振り方法＞

１～～～  
これは、現在速度だけで、加味してしまうとたまたま調子が良いサーバに優先接続するのを防ぐ為です。

２～～～

10秒以上応答がないサーバは何かしらのトラブルが生じている可能性が高いので、接続を行いません。タイムアウトに近いものを作り対策しました。

＜結果スライド＞

実験結果です。ラウンドロビンの応答速度は、0.4秒なのに対して、プロトタイプは0.15秒でした。ラウンドロビンの選択頻度が、３３％～34％とほぼ均等なのに対して、プロトタイプでは、81サーバの選択頻度が7割近く占めています。サーバ郡の中で最も速いサーバに多くつなぐことが出来たため速度が向上したからだと考えられます。